



「自主・実践・友愛」

令和8年4月22日

第5号

野っ中 だより



若葉かおる季節

新学期開始から2週間が経ちました。1年間養分を蓄えてきれいに咲き誇っていた今年の桜も葉桜となり、入れ替わるように中庭のパンジーや木々の若葉が色鮮やかになっております。中庭のお花は地域の方々や校務員さんが大切に育ててくださっており、朝登校してくる際にとっても気持ちよく感じさせてくれています。お世話をしてくださっている方々に心から感謝申し上げます。



時間を意識する



教科授業が始まった先週5日間を、チャイムスタート強調週間として授業の始まりをより意識する取り組みを行いました。どの学年の生徒も、休み時間の行動を意識して授業の始まりがスムーズになるようにしていました。チャイムスタートは授業に対する気持ちの切り替えや、50分という短い時間を有効に使うこと、そして、仲間を尊重することにつながります。これからも常に意識して行きましょう。

また、昨日、今年度初めての全校朝礼を行いました。普段の全校集会とは違って、8:15までに各自が体育館に集合し、整列完了します。素晴らしかったのは1年生で8:10には整列完了でした。次回の23年生の先輩としての姿に期待しています。

Good job!

地域の方から嬉しいお声が届きました。

- ①路上で動けなくなっていた方を介抱してくれた生徒がいます。その方はその後順調に回復し、ご家族の方から生徒への感謝の思いを学校にも届けてくださいました。その生徒は一人で声をかけて介抱したとのことで、勇気のいる行動であったと思います。人を助けようとする「親切玉（友愛）」の素晴らしい気持ちの体現です。
- ②新学期に入ってから、朝の登校時間の玄関先が賑やかで、何かあったのかと聞かれました。毎日、級外の先生方が玄関に立って、生徒と気持ちの伝わるあいさつを交わしており、とってもあたたかな雰囲気になっています。そんな光景を見ているだけで清々しくなります。ここでも「親切玉（友愛）」が磨かれています。